

- ▶ 山武市では、令和元年房総半島台風以降、特に森林整備が課題となっている。
- ▶ 浦安市は、森林を有していないため、森林環境譲与税の有効な活用方法を検討している。
- ▶ そこで、令和3年度に締結した協定に基づき、浦安市の森林環境譲与税を活用して、山武市内の森林整備を開始した。

□ 事業内容

- ・ 山武市の森林整備の一部を浦安市が森林環境譲与税で負担
- ・ 森林整備によるCO2吸収量を浦安市に還元
- ・ 山武市産木材を加工した木製品の提供

【事業費】5,000千円（全額譲与税）

【実績】令和5年度

森林整備補助（10/10） 間伐4.78ha 3,000千円
 木製品提供 サンプスギの折り紙 2,000千円
 森林整備によるCO2吸収量の還元 27.2 t -CO₂

□ 取組の背景

「浦安市と山武市の連携による森林整備の実施に係る協定」を令和4年3月22日に締結

- ・ 千葉県の市町村は、譲与税が多い都市部は森林が少なく、比較的森林が多い山村地域は譲与税が少ない傾向にある。
- ・ 千葉県の仲介によって、県内第1号の協定を締結した。



（令和3年度の協定締結式）



（間伐された森林）



（サンプスギの折り紙）

□ 工夫・留意した点

- ・ ゼロカーボンシティを宣言している浦安市に対して、CO2吸収量を少しでも多く還元できるように間伐を実施した。
- ・ 木製品の提供では、山武市内での加工業者がほとんどいないため、製品や事業者の選定に苦慮した。
- ・ 山武市内で施業している林業事業者が少ないため、各事業者と協議し、国や県の補助事業ではなく、民有林を対象とした市単独の新規補助事業とした。

□ 取組の効果

- ・ 山武市では、台風の風倒木処理やサンプスギの溝腐れ病対策として皆伐を中心に行っており、間伐が進んでいなかったが、これを機に実施することができた。
- ・ サンプスギの折り紙については、浦安市の1歳6か月児健診時に配付している。
- ・ 協定に基づき、令和4年度から両市の相互交流について検討しており、令和5年度は相互のイベントへの出店や、浦安市民が山武市に赴き両市民で合同植樹祭を実施した。

◇ 基礎データ

山武市

①令和4年度譲与額：15,686千円	②私有林人工林面積（※1）：2,744ha
③林野率（※1）：26.9%	④人口（※2）：48,444人
	⑤林業就業者数（※2）：14人

浦安市

①令和5年度譲与額：17,924千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：171,362人
	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より